

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

音から価値を創出し、革新的サービスを提供することにより社会に貢献する

AI市場規模

3兆1,779億円

AI市場規模

1兆5,075億円

コンタクトセンター市

1兆0,517億円

② 中長期の経営戦略

1. 対話型AIエージェント展開

生成AIによる高度な思考・対話能力を実装した「Terry2」を展開。人間に代わって自律的に業務タスクを完結させる能力を有する

3. 生成AIコンサルティング強化

大企業の特定部門に最新のLLMをカスタマイズ実装。従来のIT化では到達できない高度な知的作業の自動化を実現

2. コンタクトセンター構造転換

「AIエージェントを人が支える時代」へ転換。判断を伴う業務を自動化し、人間は高付加価値業務に注力する構造を構築

4. インダストリー特化型展開

製造業や人事採用など特定産業に「音」と「対話」技術を組み合わせたソリューションを提供し、高付加価値化を図る

③ 対処すべき課題

① パートナー協業とM&A実行

- ・ 2016年以降の大手事業会社との資本業務提携継続
- ・ 戦略的M&Aによる非連続な成長実現
- ・ 音ノウハウの隣接領域展開とIT企業のターンアラウンド

② サービス競争力の強化

- ・ 研究開発からプロダクト開発・運用保守まで一貫対応
- ・ 生成AI活用による製品付加価値向上
- ・ 既存顧客のLTV最大化

③ テクノロジー強化と人材確保

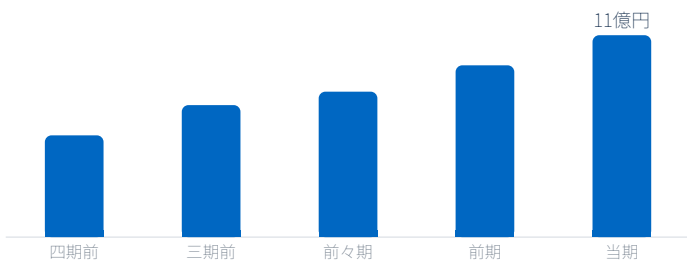
- ・ 新技術への適時対応と研究開発投資継続
- ・ 優秀な人材採用・育成強化
- ・ 高度なAI技術と専門人材の確保

面で使えるポイント

- ・ 2029年度3兆1,779億円と予測される国内AI市場の成長機会をTerry2などの対話型AIエージェント展開で捉える
- ・ Society 5.0実現に向けたDX推進支援と、Connected Industries実現に必要な音データ活用で社会…
- ・ 産総研による2014年の技術移転ベンチャー認定から始まる音×AIの研究開発で、他社に追従を許さないポジション確立を目指す

証券コード 265A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
62点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 55.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
718万円

情報・通信業内 186位/592社

平均年齢
37.9歳

情報・通信業内 313位/593社

平均勤続
2.8年

情報・通信業内 543位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: Hm c omm(株)【265A】：決算情報

